

GPA による客観的指標

学生の学修を支援するにおいて、個々の学生の学修状況を客観的に表す指標は重要であり、本校ではその客観的指標として GPA (Grade Point Average) を採用する。この指標を学生や保護者と共有することにより、個々の学生の学修支援に活用することとする。

1. GPA (グレード・ポイント・アベレージ) の計算方法

- 1) 科目の成績評価に応じて 5 段階 (4.0、3.0、2.0、1.0、0) の数値を設定する。受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントを 0 点とする。

合否区分	評価	成績	グレードポイント
合格	秀 (S)	90 点以上	4. 0
	優 (A)	80 点以上 90 点未満	3. 0
	良 (B)	70 点以上 80 点未満	2. 0
	可 (C)	60 点以上 70 点未満	1. 0
不合格	不可 (D)	60 点未満	0. 0
受講中止	非該当	非該当	0. 0

- 2) 各履修科目のグレード・ポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で除した結果を GPA として採用する。

算出式は以下とする。

$$\frac{\text{「秀」修得単位数} \times 4.0 + \text{「優」修得単位数} \times 3.0 + \text{「良」修得単位数} \times 2.0 + \text{「可」修得単位数} \times 1.0}{\text{学期で履修する総単位数 (「不可」の単位数や受講中止した科目の単位数を含む)}}$$

※GPA の計算結果は、小数点第 3 位以下を四捨五入する。

2. GPA の判定基準と学習支援

- 1) GPA は個々の学生における学修状況を客観的に示す指標として、学生の学習支援に活用する。
- 2) GPA は学期ごとに算出し、試験結果通知に記載する等、学生と共有することを原則とする。
- 3) GPA を次により区分し学修状況に応じて必要な支援を実施する。

ランク	GPA	区分	支援内容
1	3.4 以上		
2	3.2 以上 3.4 未満		
3	3.0 以上 3.2 未満		
4	2.8 以上 3.0 未満		
5	2.6 以上 2.8 未満		
6	2.4 以上 2.6 未満		
7	2.2 以上 2.4 未満	注意	本人との面談を実施する
8	2.0 以上 2.2 未満	激励	本人との面談を実施する
9	1.8 以上 2.0 未満	警告	保護者との面談を実施する
10	1.6 以上 1.8 未満	警告	保護者との面談を実施する
11	1.6 未満	警告	(進路変更を提案する)